

ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種を受ける方・保護者の方へ（必ずお読みください）

## ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン接種説明書

この説明書をよく読み予防接種による効果や副反応などをよく理解し、接種に同意したうえで接種を受けてください。

### 1 ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて

乳幼児に死亡又は重篤な後遺症を残すことのある小児細菌性髄膜炎の原因は、インフルエンザ菌b型（ヒブ）の感染が約60%、肺炎球菌の感染が約30%を占めているといわれています。これらの細菌は、髄膜炎以外にも肺炎や敗血症といった重症感染症を起こす事があります。ヒブと肺炎球菌には、それぞれ発病及び重症化を予防するワクチンがあり、細菌性髄膜炎等の予防にはワクチン接種が最良の手段です。

### 2 ワクチンの接種回数について

#### (1) ヒブワクチンについて

接種開始時期における月齢や年齢は次のとおりとなります。

##### ○ 接種開始が生後2か月～7か月未満（4回接種）

初回接種：生後12か月未満までに27日（医師が必要と認めた場合20日）以上の間隔を空けて3回。（初回2回目及び3回目の接種は、生後12か月以上の場合には受けられない。（追加接種は可））

\* 標準的には、27日（医師が必要と認めた場合20日）以上56日までの間隔を空けて3回

追加接種：初回接種終了後7か月以上の間隔を空けて1回。ただし、初回接種3回を終了せずに生後12か月以上になった場合は、初回接種に係る最後の接種終了後27日（医師が必要と認めた場合20日）以上の間隔を空けて1回

\* 標準的には、初回接種終了後、7か月以上13か月までの間隔を空けて1回

##### ○ 接種開始が生後7か月～1歳未満（3回接種）

初回接種：生後12か月未満までに27日（医師が必要と認めた場合20日）以上の間隔を空けて2回。（初回2回目の接種は、生後12か月以上の場合には受けられない。（追加接種は可））

\* 標準的には、27日（医師が必要と認めた場合20日）以上56日までの間隔を空けて2回

追加接種：初回接種終了後7か月以上の間隔を空けて1回。ただし、初回接種2回を終了せずに生後12か月以上になった場合は、初回1回目の接種終了後27日（医師が必要と認めた場合20日）以上の間隔を空けて1回

\* 初回接種終了後、7か月以上13か月までの間隔を空けて1回

##### ○ 接種開始が生後1歳～5歳未満 ⇒ 1回だけ接種します。

#### (2) 小児用肺炎球菌ワクチンについて

開始時期における月齢や年齢は次のとおりになります。

##### ○ 接種開始が生後2か月～7か月未満（4回接種）

初回接種：生後24か月未満までに27日以上の間隔を空けて3回。（初回2回目及び初回3回目の接種は、生後24か月以上は受けられない。また、生後12か月以上で初回2回目を受けた場合は、初回3回目の接種は受けられない。（追加接種は可））

\* 標準的には、生後12か月未満までに27日以上の間隔を空けて3回

追加接種：初回接種後、60日以上の間隔を空けて、生後12か月以上になって1回

\* 標準的には、初回接種終了後、60日以上の間隔を空けて生後12か月から生後15か月までに1回

##### ○ 接種開始が生後7か月～1歳未満（3回接種）

初回接種：生後24か月未満までに27日以上の間隔を空けて2回。（初回2回目の接種は、生後24か月以上は受けられない。（追加接種は可））

\* 標準的には、生後13か月未満までに27日以上の間隔を空けて2回

追加接種：初回接種後、60日以上の間隔を空けて生後12か月以上になって1回

\* 標準的には、初回接種後、60日以上の間隔を空けて生後12か月以上になって1回

##### ○ 開始が生後1歳～2歳未満 ⇒ 60日以上の間隔で2回接種します。

##### ○ 開始が生後2歳～5歳未満 ⇒ 1回だけ接種します。

### 3 ワクチン接種を受けるには

指定された医療機関に予約をして接種を受けてください。

### 4 ワクチン接種を受けるときに持参するもの

母子健康手帳、健康保険証等を持参してください。

### 5 ワクチン接種を受けるときの同伴者は

保護者が必ず同伴してください。

### 6 ワクチン接種後の副反応について

以下の副反応が報告されていますが、通常、3日から4日中に改善します。

- (1) 注射部位の局所反応として発赤、腫脹、硬結、かゆみなどが認められます。
- (2) このほかにも、発熱、せき・鼻汁、嘔吐、下痢などが認められます。

### 7 ワクチン接種を受けられない方

- (1) 明らかに発熱している方（接種時体温37.5℃以上）。
- (2) 重い急性疾患にかかっている方。
- (3) ワクチンの成分（詳しくは医師にお尋ねください）によって過敏症（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応を含む）をおこしたことがある方。
- (4) 生ワクチンを接種して28日以内の方、または不活化ワクチンを接種して6日以内の方。
- (5) その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいと言われた方。

### 8 他のワクチンとの同時接種について

ヒブワクチンと小児用肺炎球菌との同時接種や、これらのワクチンと三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）ワクチン等の他のワクチンとの同時接種を受けた場合、発熱や注射した部位の腫れなどの軽い報告がありますが、同時接種による重篤な副反応の増加は報告されていません。欧米においても同時接種については、問題ないとされ、同時接種は、通常の方法として広く行われています。これらのことにより、同時接種について、現在の知見からは、安全性についての問題はないと考えられています。

同時接種を希望する場合は、医師と十分相談し、同意したうえで同時接種してください。

### 9 ワクチン接種前に医師によく相談しなければならない方

- (1) 血小板が少ない方や出血しやすい方。
- (2) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方。
- (3) 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方。
- (4) 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方。
- (5) 過去に免疫不全の異常を診断されたことがある方、または近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。

### 10 ワクチン接種後の注意

- (1) 接種後、重いアレルギー症状（血管浮腫・じんましん・呼吸困難）が起こることがあるので、すぐに帰宅せず30分間は安静にしてください。また、接種後1週間は副反応の発生に注意し、強い痛みがある場合や痛みが長く続いている場合など、気になる症状があるときは、医師にご相談ください。
- (2) 接種後は接種部位を清潔に保ち、こすらないようにしましょう。
- (3) 接種当日は安静を保って過度な運動を控えましょう。接種当日の入浴は差し支えありません。

問い合わせ先

田川市保健センター 田川市大字伊田2550-1 TEL44-8270

[http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/kenkou/page\\_567.html?mst=9&pg=1&type=life](http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/kenkou/page_567.html?mst=9&pg=1&type=life)